

あなたを待っている子どもたちのために

第4回 「仙台市の先生になること」

令和5年1月18日（水）発行 仙台市教育委員会 教育センター 若手教員支援室

第4回プレゼミナールを開催しました！

令和5年1月14日（土）仙台市教育センターを会場に令和4年度第4回仙台市教員プレゼミナールを開催しました。今回は、「仙台市の教員になること」というテーマで、仙台市の最重要課題や仙台市が求める教員像について、仙台市ならではの魅力や「杜の都の学校教育」が目指すものについて、また、保護者との信頼関係を築くために対応する際の基本的な姿勢や心得について学びました。参加者は、遠隔地在住等によるオンライン参加者を含め71名でした。

1 「仙台市の先生になること①」

仙台市の最重要課題や仙台市が求める教員像について、教職員課の主任管理主事が話をしました。「仙台市の先生」として忘れてはいけないこととして、かけがえのない命を預かり、守る責務があること、東日本大震災の教訓を今に生かし、未来につなげる責務があることなどについて学びました。それから、仙台市が教員に求める三つの力と教員像やキャリアステージに応じて求められる「教員」の姿、特に、着任時に求められる姿について具体的に学びました。最後に、講師自身の教員としての体験を通して、教員のやりがいや喜びについても話がありました。



2 「仙台市の先生になること②」

仙台市ならではの魅力や「杜の都の学校教育」が目指すものについて、教育指導課の主任指導主事が話をしました。はじめに、「杜の都の学校教育」が目指すもの（仙台市の学校教育推進の指針と指導の重点）について、仙台市教育構想2021、SDGsとの関わり等も含め学びました。それから、仙台ならではの魅力として、仙台自分づくり教育、仙台版命と絆プログラム、仙台版防災教育等について学びました。また、子どもと学べる教育施設として、震災遺構仙台市立荒浜小学校、仙台子ども体験プラザ、仙台市天文台や仙台市科学館等の紹介がありました。最後に、講師自身がこれまで勤務したそれぞれの学校で学んだこと等についても話がありました。



3 「保護者対応で大切にしなければならないこと」

小学校、小学校以外の2会場に分かれて、それぞれ小学校の教頭先生、中学校の教頭先生から、保護者との信頼関係を築くために、対応する際の基本的な姿勢や心得について、実例をもとに学びました。小学校会場では、4つの具体例を通して、保護者対応のポイントとして、先入観や偏見を持たないこと、事実のみを伝えること、後手にならないこと、子どもの成長や安心して学校生活を送ることができるためという視点を心掛けること等を学びました。中学校会場では、Jamboardを使って受講者同士が意見交換をしながら、保護者と信頼関係を構築するために心掛けること等について学びました。



<受講者の声>

○今日の講義で、特に保護者対応について多くのことを学べたと思います。事例を挙げながら対応の仕方などを伝授して下さったため、とても想像しやすかったです。保護者対応は怖いからといって避けるのではなく、自分が成長できるチャンスだと思って積極的に対応して徐々に学んでいきたいと思います。また、自分が来年から教師になるにあたって、自分を支える言葉をいくつか持っておきたいと思いました。



○今回の講義では、仙台市で教員になるということを改めて考える良い機会となりました。また、仙台市ならではの教育や目標などを具体的に教えていただき、自分がどのような教育を行うのかをイメージすることも出来ました。保護者対応では、あまりポジティブなイメージがなかったが、保護者対応は保護者と信頼関係を結ぶチャンス、いじめの対応は子供を成長させるチャンスと前向きに考えるきっかけとなりました。教員のやりがい等も共感できる場所があり、自分のクラスを早く持ってみたい！という気持ちになりました。ありがとうございました。

○オンラインでの参加でしたが、映像音声ともに不自由なく研修を受けることができました。3時間通して一方的な講義形式ではなく、考えたり、他の参加者の意見を聞いたりする時間も多かったため、とても勉強になる部分が多くありました。また、今回出てきた仙台市教育構想などの冊子についてはダウンロードして、4月までに目を通しておきたいと思います。本日もありがとうございました。



○本日は、仙台市の教員として、知っておくべきこと、仙台市の取り組みを改めて、より深く知ることができ非常に良かったです。また、保護者対応について、不安な点がありましたが、事例を基にどのような対応がより良いのかを知ることができ、保護者対応に対する視点も変わったため、少し心が和らぎました。対面で参加でき、他の仲間とも交流をしながらコミュニケーションも取れて良かったです。

○年が明け、いよいよ春には教壇に立つということに不安を感じていましたが、現職の先生の経験談に基づくアドバイスややりがい、励ましを受けて、これから始まる教職人生に大きな期待を抱くことができました。仙台市ならではの教育施策や教育施設、そして手厚い研修制度があることを改めて詳しく知ることができたので、そのような環境に感謝しながら目の前の子どもたちに向き合っていきたいと思います。

○今回のプレゼミナルもとても実りのあるものとなりました。仙台市で教員として働くためには、まず自分が仙台市ならではの魅力を知っておくこと、仙台市の学校像など、子どもたちの尊い命を守るためになどたくさん知っておく必要があるということをもっと感じました。また、保護者対応では、私が4月から教員になる上で一番不安に感じていたところでした。何も知らない状態から電話対応などできるのかなと思っていたので、誰に相談してもよいということ、事実だけを言葉を選びながら伝え、子どもにも親にも偏見を持たないことが大事だと知ることができました。分からないことを相談するのは、難易度が高いなとも思ったので、1コマ目で考え、他の参加者の方の意見に出てきた、飴ちゃん作戦や、レッドカード作戦などを駆使しながら頑張りたいと改めて思いました。今回もありがとうございました。

○仙台市ならではの学校教育の取り組みを改めて確認することができました。仙台には子どもと学べる教育施設がたくさんあるため、一度自分の足でも訪れてみたいと思います。また、教員として働く上で、自分を支えてくれる「人」や「言葉」、「思い」などを見つけてみようと思いました。さらに、保護者対応で大切にしなければならないポイントを改めて確認することができてよかったです。特に、「子どもがいかに安心して学校生活を送ることができるか」という視点を大切にしながら、今後も保護者と向き合っていきたいです。



○今回は随所に「考えさせる場面」があり、受身ではなく、「自分の頭で考えること」の大切さを確認できた。また、小グループで問題を考えたり、他のグループの考えを聞いたりすることで協働の大切さを実感できた。

次回(第5回「先輩からのメッセージ」)は、1月28日(土)に開催します。